

# 兵庫県下の経済動向

平成26年8月

但馬銀行  
TAJIMA BANK

# 目 次

概 況	．．．．．	1
生 産	．．．．．	2
個 人 消 費	．．．．．	4
設 備 投 資	．．．．．	6
住 宅 投 資	．．．．．	8
公 共 工 事	．．．．．	9
貿 易	．．．．．	10
物 価	．．．．．	11
雇 用	．．．．．	13
信 用 保 証	．．．．．	15
金 融	．．．．．	16
倒 産	．．．．．	17

## 【概 況】

最近の県内景気は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動がみられたが、基調的には回復しつつある。個人消費は基調として緩やかに持ち直している。この間、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動は徐々に減衰している。また、設備投資は拡大しているほか、公共投資は増加している。住宅投資は増加しているものの、足もとでは消費税率引き上げに伴う影響もみられる。

需要面の動きをみると、個人消費は、百貨店売上高が4か月連続で前年実績を下回った。

乗用車販売は、普通乗用車、および小型乗用車が減少し、4か月連続で前年を下回った。

家電販売は、持ち直しつつある。

設備投資は、製造業、非製造業ともに増加しており、26年度は増加となる見込み。

住宅投資は、貸家、分譲住宅が増加したが、持家、給与住宅が減少し、全体では2か月連続で前年を下回った。

公共工事請負金額は国、兵庫県で大幅減、神戸市で2桁減となるも、独立行政法人等、その他の団体で著増、神戸市を除く市町で大幅増となったことから、6か月連続して前年を上回った。基調としては増加している。

貿易は、輸出は中国向けが減少したが、米国、中国を含むアジア、EU向けが増加し、4か月連続で前年を上回った。また、輸入については2か月連続で前年を上回った。

生産活動は、鉱工業生産指数でみると、8か月ぶりに前年を下回った。

雇用関係では、有効求人倍率は前月と同水準で、新規求人数も前年を上回った。

また、所定外労働時間、一人当り名目賃金は前年を上回ったが、常用労働者数は前年を下回った。

金融情勢は、預金、貸出ともに前年を上回って推移している。

企業倒産は、件数は前年を上回ったが、負債金額は前年を下回った。

### 兵庫DI及び兵庫CIから見た県内の景気動向

5月の兵庫DIは、先行指数28.6%、一致指数22.2%、遅行指数62.5%となった。

5月の兵庫CIは、先行指数98.9、一致指数115.1、遅行指数108.7となった。

兵庫DIは、先行指数が3か月連続で50%を下回り、一致指数が2か月連続で50%を下回り、遅行指数は、2か月連続で50%を上回る。

一方、兵庫CIは、先行指数が5か月連続で前月差減、一致指数は2か月連続で前月差減、遅行指数は4か月連続で前月差増となった。

県統計課は基調判断を「一致指数は、改善を示している。ただし、兵庫CI一致指数の3か月後方移動平均の前月差は2か月連続でマイナスとなっている。」としている。

\*兵庫DIと兵庫CI・・・兵庫県の経済指標から景気の状態を導く指数。県景気変動指数(兵庫DI)は50%が好不況の別れ目で、景気の拡張、後退などを判断する。県景気総合指数(兵庫CI)は景気変動の大きさを測定し、指数の前月との差の大小をみる。

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

## 【生 産】

6月の県鉱工業生産指数(平成22年=100、季節調整済、速報)は98.3、前月比5.6%減少。出荷指数は99.6、同4.8%減少。在庫指数は113.0、同1.3%減少。在庫率は130.6、同22.2%上昇。生産指数は4か月ぶりに低下、出荷指数は2か月ぶりに低下、在庫指数は2か月ぶりに低下した。

前年同月比(原指数)では、生産は4.4%増で9か月連続で上昇、出荷は0.9%増で9か月連続で上昇、在庫は6.8%減で6か月連続で低下した。

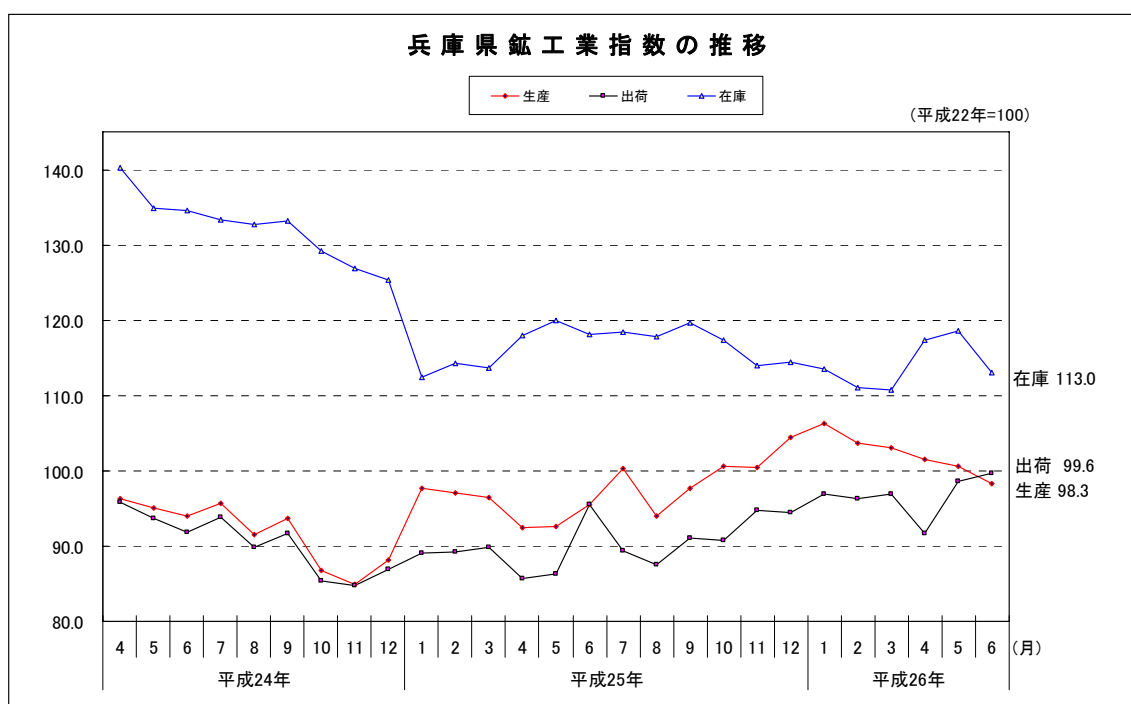
主要業種の生産動向を対前月比で見ると、ガス温水給湯暖房機等の「金属製品工業」が1.5%、電力変換装置等の「電気機械工業」が1.4%、H形鋼等の「鉄鋼業」が0.0%各々上昇し、清酒等の「食料品工業」が0.4%、セメント等の「窯業・土石製品工業」が2.5%、反応用機器等の「はん用・生産用・業務用機械工業」が5.8%、テレメータ・テレコントロール等の「情報通信機械工業」が6.6%、発動機部品等の「輸送機械工業」が9.8%、医薬品等の「化学工業」が18.7%、各々下落した。

県統計課は、基調判断を「横ばい傾向にあるが、一部に弱い動きがみられる。」とした。

6月の兵庫県鉱工業指数 (速報、平成22年=100)

区 分	季節調整 済指数	対前月比 増減 (%)	原 指 数	
				対前年同月 比増減 (%)
生 産	98.3	▲ 5.6	102.2	4.4
出 荷	99.6	▲ 4.8	102.3	0.9
在 庫	113.0	▲ 1.3	113.1	▲ 6.8
在 庫 率	130.6	22.2	129.7	10.1

資料：兵庫県企画県民部統計課



### 6月の県内鉱工業生産指数(主要9業種の動向)

(速報、平成22年=100)

業 種	指 数	対前月比 増減 %	指数の上昇又は低下に寄与した品目	
鉄 鋼	98.9	0.0	上昇	H形鋼、普通鋼冷延広幅帯鋼、粗鋼、鋼半製品
			低下	鍛鋼品、普通鋼鋼板、亜鉛めっき鋼板、その他の金属めっき鋼板
金属製品	96.3	1.5	上昇	ガス温水給湯暖房機、ガス風呂がま、ガス温風暖房機、石油温水給湯暖房機
			低下	粉末や金製機械材料、ねじり棒ばね、鋼索、ガス湯沸器
はん用・ 生産用・ 業務用 機械	86.0	▲ 5.8	上昇	混合機・かくはん機・粉碎機、一般用蒸気タービン、機械式駐車装置、ボイラ部品
			低下	反応用機器、ショベル系掘削機械、建設用クレーン、トンネル掘進機
電気機械	114.6	1.4	上昇	電力変換装置、電気がま、超音波応用装置、アルカリ蓄電池
			低下	リチウムイオン蓄電池、開閉制御装置、一般用エンジン発電機、非標準油入り変圧器(10000kVA以上)
情報通信 機械	103.9	▲ 6.6	上昇	ノート型パソコン、無線位置測定装置、携帯電話、レーダ装置
			低下	テレメータ・テレコントロール、搬送装置、固定通信装置、カーオーディオ
輸送機械	113.2	▲ 9.8	上昇	旅客機、機体部品、二輪自動車(125ml超)、駆動伝導・操縦装置部品
			低下	発動機部品、内燃機関電装品、特殊自動車、特装ボデー
窯業・ 土石製品	104.1	▲ 2.5	上昇	ほうろう鉄器製品、安全ガラス、耐火れんが、研削砥石
			低下	セメント、複層ガラス、せっこうボード、ファインセラミックス(構造材)
化 学	103.7	▲ 18.7	上昇	化粧品、エポキシ樹脂、シクロヘキサン、純ベンゼン
			低下	医薬品、無水酢酸、水系合成樹脂塗料、複合肥料(化成肥料)
食 料 品	104.3	▲ 0.4	上昇	配合飼料、ビール類、即席めん、チーズ
			低下	清酒、しょうゆ、精米、めん類

資料：兵庫県企画県民部統計課

## 【個人消費】『百貨店売上』

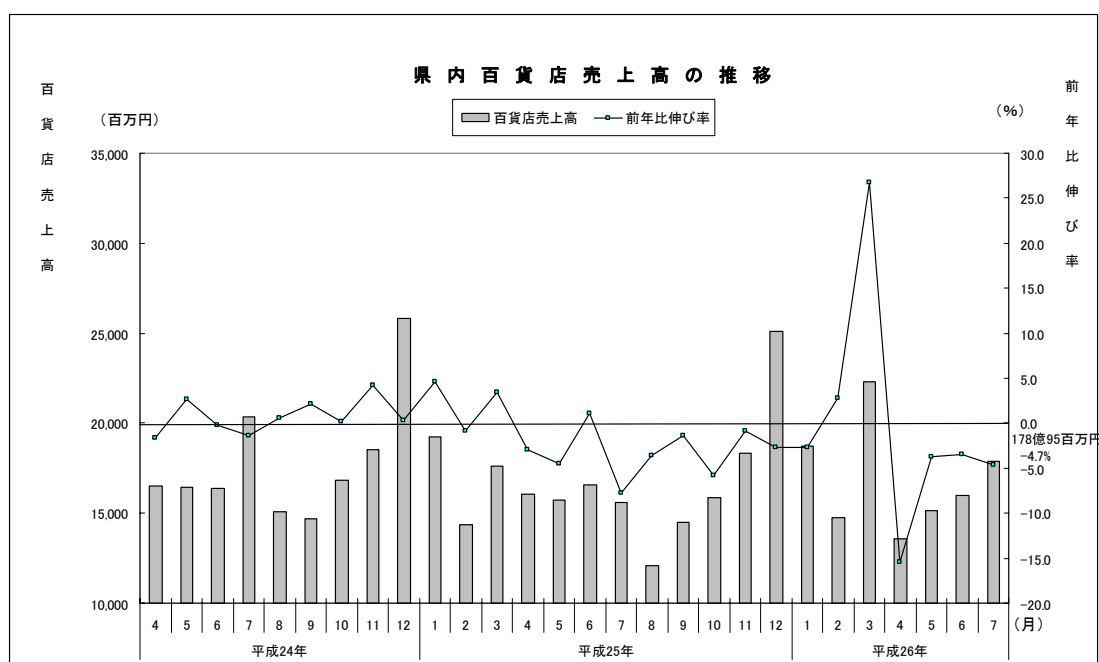
兵庫県百貨店協会がまとめた7月の県内百貨店売上高は、前年同月比4.7%減の178億95百万円と4か月連続で前年実績を下回った。7月上旬に気温が上がらず、夏物のセールの前半戦が不調となった。

神戸地区は前年同月比4.8%減。セール序盤となる7月前半は婦人服などで前年を割り込んだが、後半は回復傾向になった。そごう神戸店は「インターネットでほしい物がいつでも手に入るようになり、セールのイベント性が薄れてきたのでは」と分析した。また、姫路地区もセール前半が振るわず、4.2%減だった。

### 7月の県内百貨店売上高

品目	神戸	姫路	合計
紳士服・洋品	627(▲10.1)	150(▲4.1)	778(▲0.9)
婦人服・洋品	4,065(▲3.9)	635(▲6.8)	4,701(▲4.3)
子供服・洋品	292( 0.4)	84(▲3.2)	377(▲0.4)
身の回り品	1,276(▲14.0)	264(▲8.1)	1,541(▲13.1)
家庭用品	568(▲9.6)	156( 15.0)	724(▲5.2)
食料品	5,210(▲1.2)	1,112(▲5.0)	6,323(▲1.9)
雑貨	2,065(▲7.0)	315(▲5.4)	2,381(▲6.8)
その他	748(▲2.9)	319( 0.5)	1,068(▲1.9)
計	14,855(▲4.8)	3,040(▲4.2)	17,895(▲4.7)

\* 単位百万円、百万円未満切捨て。( )内は前年同月比伸び率% 資料：兵庫県百貨店協会  
 ※ 神戸地区には芦屋・宝塚、姫路地区には加古川を含む。



## 【個人消費】『新車登録』

県内7月の乗用車新車登録台数は14,963台、前年同月比1.5%減と4か月連続で前年同月の実績を下回った。

7月の乗用車新車登録を車種別にみると、普通乗用車は5,076台(前年同月比3.6%減)、小型乗用車は4,586台(同0.4%減)、軽乗用車は5,301台(同0.4%減)、乗用車合計で14,963台(同1.5%減)となった。

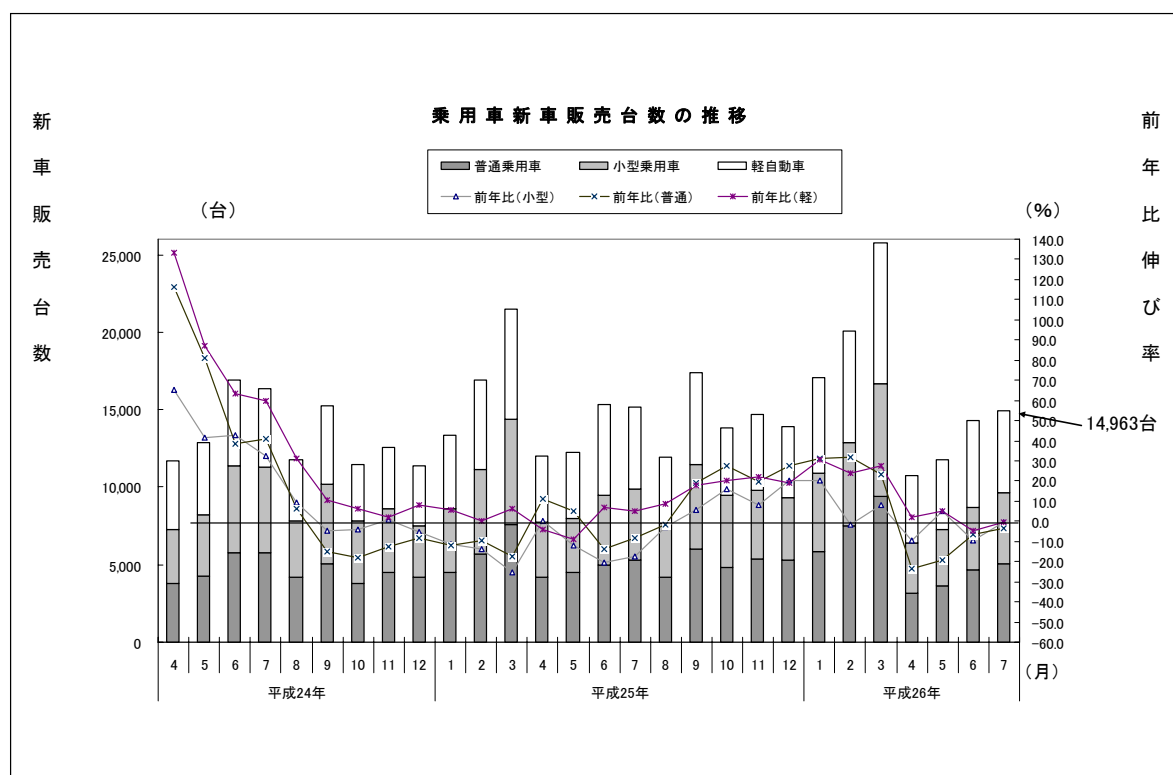
また貨物車等では、普通貨物車は315台(同12.5%増)、小型貨物車664台(同0.3%減)、軽貨物車は1,170台(同7.2%減)、バスは40台(同25.0%減)となった。

### 7月の新車販売(登録)台数

(単位：台、%)

車種	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
普通乗用車	5,076	▲ 3.6	117,881	▲ 1.4
小型乗用車	4,586	▲ 0.4	132,808	1.9
軽乗用車	5,301	▲ 0.4	140,763	▲ 7.5
<b>乗用車合計</b>	<b>14,963</b>	<b>▲ 1.5</b>	<b>391,362</b>	<b>▲ 2.6</b>
普通貨物車	315	12.5	12,274	3.9
小型貨物車	664	▲ 0.3	21,897	0.9
軽貨物車	1,170	▲ 7.2	33,689	▲ 5.8
<b>貨物車合計</b>	<b>2,149</b>	<b>▲ 2.6</b>	<b>67,860</b>	<b>▲ 2.0</b>
バス	40	25.0	1,026	14.1
<b>登録車総計</b>	<b>17,152</b>	<b>▲ 1.6</b>	<b>460,248</b>	<b>▲ 2.5</b>

資料：自販連兵庫県支部、兵庫県軽自動車協会



## 【設備投資】

内閣府が8月14日に発表した機械受注統計によると、平成26年6月実績は以下のとおり。

最近の機械受注総額(季節調整値)の動向をみると、26年5月前月比30.5%減の後、26年6月は同17.1%増の2兆5,451億円となった。

このうち民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、5月前月比19.5%減の後、6月は同8.8%増の7,458億円となった。

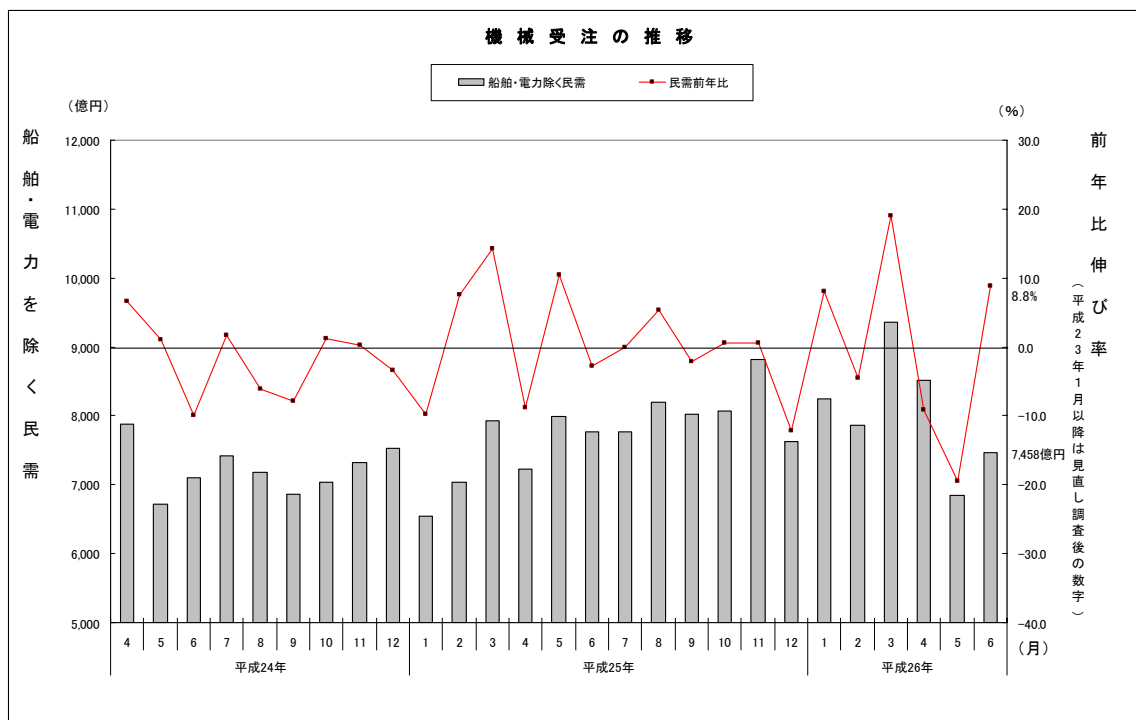
内訳をみると、製造業が同6.7%増の3,024億円、非製造業(船舶・電力を除く)は同4.0%増の4,441億円であった。

製造業民需受注を業種別でみると、前月比で増加したのは15業種中、石油製品・石炭製品(54.2%増)、造船業(52.3%増)、非鉄金属(40.3%増)、精密機械(33.6%増)、電気機械(24.6%増)、「その他製造業」(17.6%増)、自動車・同付属品(3.9%増)、金属製品(2.3%増)等の8業種で、その他輸送用機械(35.6%減)、パルプ・紙・紙加工品(32.7%減)、化学工業(26.5%減)、鉄鋼業(6.3%減)、食品製造業(2.5%減)、一般機械(1.3%減)、情報通信機械(0.5%減)等の7業種は減少となった。

一方、非製造業では、前月比で増加したのは12業種中、建設業(26.2%増)、リース業(11.2%増)、卸売業・小売業(10.8%増)等の3業種で、電力業(35.1%減)、鉱業・採石業・砂利採取業(30.2%減)、運輸業・郵便業(18.2%減)、通信業(15.3%減)、「その他非製造業」(8.0%減)、農林漁業(7.3%減)、不動産業(5.5%減)、情報サービス業(4.8%減)、金融業・保険業(4.6%減)等の9業種は減少となった。

兵庫県下においては、2014年度設備投資額は、製造業、非製造業ともに増加を見込んでおり、全産業でも増加計画。

\*全国企業短期経済観測調査(短観)結果 2014年3月 ——兵庫県——  
設備投資計画：全産業前年度比+6.6% (製造業+7.6%、非製造業+2.6%)





機械受注統計 (平成26年月分)

	25年 7～9月 実績	10～12月 実績	26年 1～3月 実績	4～6月 実績	7～9月 見通し	26年 3月 実績	4月 実績	5月 実績	6月 実績
受注総額	65,886 ( 5.9) [ 21.4]	65,764 ( -0.2) [ 15.9]	68,594 ( 4.3) [ 10.8]	78,446 (14.4) [ 26.9]	66,416 (-15.3) [ -2.0]	23,198 (4.0) [-0.3]	31,260 ( 34.8) [ 53.6]	21,735 ( -30.5) [ -2.6]	25,451 (17.1) [30.3]
民 需	28,259 ( 5.1) [ 9.9]	28,822 ( 2.0) [ 14.0]	30,577 ( 6.1) [ 18.5]	27,527 (-10.0) [ 2.1]	27,078 (-1.6) [ -4.6]	10,765 ( 17.3) [ 14.5]	10,541 ( -2.1) [ 22.4]	8,472 ( -19.6) [ -9.0]	8,513 ( 0.5) [ -4.9]
〃 (Ex 船・電)	23,997 ( 4.8) [ 9.6]	24,442 ( 1.9) [ 13.3]	25,474 ( 4.2) [ 16.4]	22,824 (-10.4) [ -0.4]	23,484 ( 2.9) [ -2.3]	9,367 ( 19.1) [ 16.1]	8,513 ( -9.1) [ 17.6]	6,853 ( -19.5) [ -14.3]	7,458 ( 8.8) [ -3.0]
製造業	9,633 ( 8.1) [ 8.2]	9,829 ( 2.0) [ 14.8]	10,213 ( 3.9) [ 22.1]	9,343 (-8.5) [ 4.1]	9,296 (-0.5) [ -3.5]	3,846 ( 23.7) [ 29.5]	3,484 ( -9.4) [ 19.3]	2,835 ( -18.6) [ -3.8]	3,024 ( 6.7) [ -1.3]
非製造業 (Ex 船・電)	14,344 ( -0.2) [ 10.4]	15,052 ( 4.9) [ 12.4]	14,898 ( -1.0) [ 11.8]	13,905 ( -6.7) [ -3.1]	14,218 ( 2.2) [ -0.7]	3,846 ( 23.7) [ 29.5]	5,195 ( 0.9) [ 16.7]	4,270 ( -17.8) [ -19.9]	4,441 ( 4.0) [ -4.1]
官 公 需	9,197 ( 8.8) [ 34.0]	9,197 ( 8.8) [ 34.0]	7,196 (-11.5) [ -9.1]	9,374 ( 30.3) [ 11.8]	8,039 (-14.2) [ -18.3]	2,115 (-18.5) [ -17.6]	2,971 (40.5) [ 18.5]	3,637 (22.4) [ 9.5]	2,766 (-24.0) [ 6.4]
外 需	27,009 ( 10.7) [ 34.7]	25,814 ( -4.4) [ 18.4]	27,499 ( 6.5) [ 12.8]	39,111 ( 42.2) [ 61.0]	28,058 (-28.3) [ 4.9]	9,429 ( 3.2) [ -4.3]	16,148 ( 71.3) [101.7]	8,737 ( -45.9) [ -0.2]	14,226 (62.8) [87.5]
代 理 店	2,884 ( 7.7) [ 4.6]	3,076 ( 6.7) [ 16.2]	2,833 (-7.9) [ -6.3]	3,037 ( 7.2) [ 13.0]	3,003 (-1.1) [ 4.5]	776 (-22.0) [ -29.7]	987 ( 27.3) [ 24.4]	1,009 ( 2.2) [ 9.0]	1,041 (3.1) [7.9]

資料：内閣府経済社会総合研究所

- 備考
1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
  2. 四半期は合計額、( )内は対前期(月)増減率、[ ]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

## 【住宅投資】

県内6月の新設住宅着工戸数は、総数で2,919戸(前年同月比0.7%減)となり、貸家、分譲住宅が増加したが、持家、給与住宅が減少し、全体では前年を下回った。また、前月比では428戸の増加となった。

### 6月の新設住宅着工戸数

(速報、単位：戸、%)

	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
持家系・持家	886	▲ 13.8	24,864	▲ 19.0
・分譲住宅	988	3.7	19,415	▲ 11.9
貸家系・貸家	1,043	11.0	31,058	1.8
・給与住宅	2	▲ 88.9	420	9.0
<b>総数</b>	<b>2,919</b>	<b>▲ 0.7</b>	<b>75,757</b>	<b>▲ 9.5</b>

資料：兵庫県住宅計画課、国土交通省

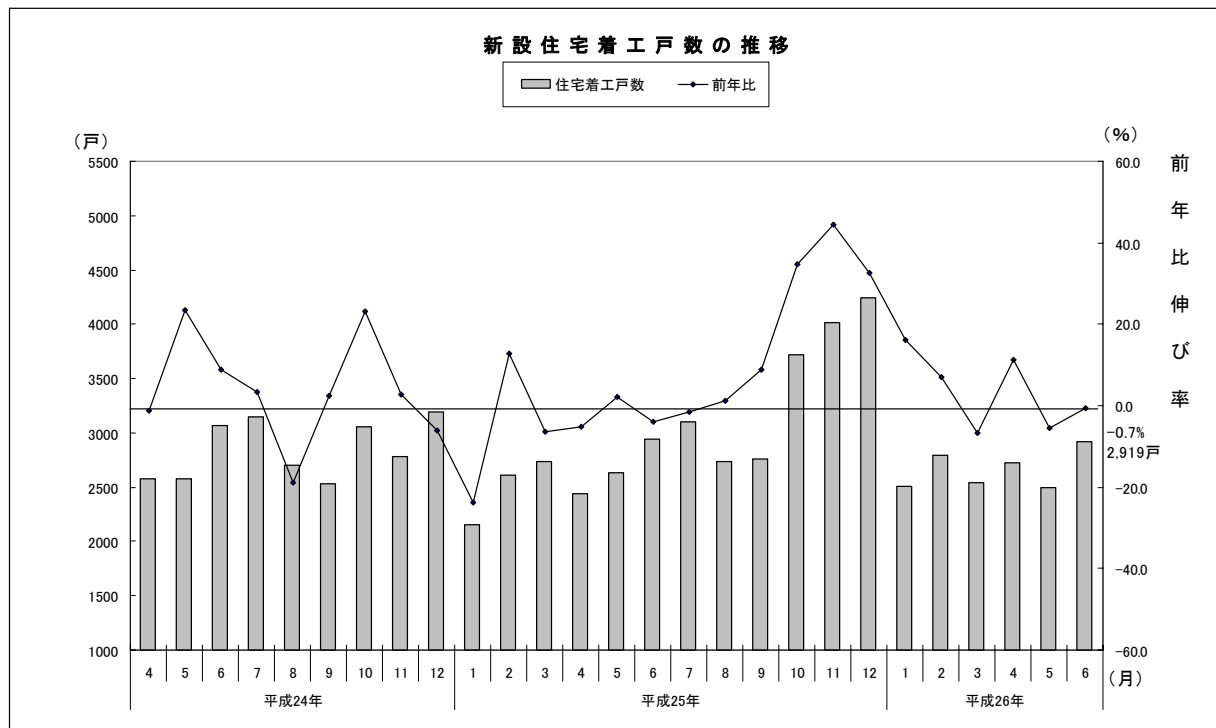
### 6月の地域別着工戸数

(戸)

地域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	計
戸数	919	548	307	482	148	302	92	41	43	37	2,919
前月比	14.9	36.0	34.1	29.2	127.7	-32.4	-6.1	13.9	975.0	2.8	17.2

資料：兵庫県住宅政策課

平成26年6月の新設住宅着工累計は、総数で2,919戸、前年同期比20戸の減少となった。利用関係別では「持家」が886戸(前年同期比13.8%減)、「貸家」が1,043戸(同11.0%増)、「分譲住宅」が988戸(同3.7%増)、「給与住宅」が2戸(同88.9%減)となった。



## 【公共工事】

7月の県内公共工事動向を西日本建設業保証(株)兵庫支店の前払金保証取扱状況でみると、件数は526件で前年同月比6.4%の減少、請負金額は374億円で同10.6%の増加となり、金額ベースでは6か月連続で前年同月を上回った。

発注者別(金額ベース)にみると、「国」前年同月比▲48.3%、「兵庫県」同▲32.1%、「神戸市」同▲12.2%減少となったが、「神戸市を除く市町」同35.7%、「その他の団体」同56.3%、「独立行政法人等」同422.9%の増加となり、前年同月を上回った。

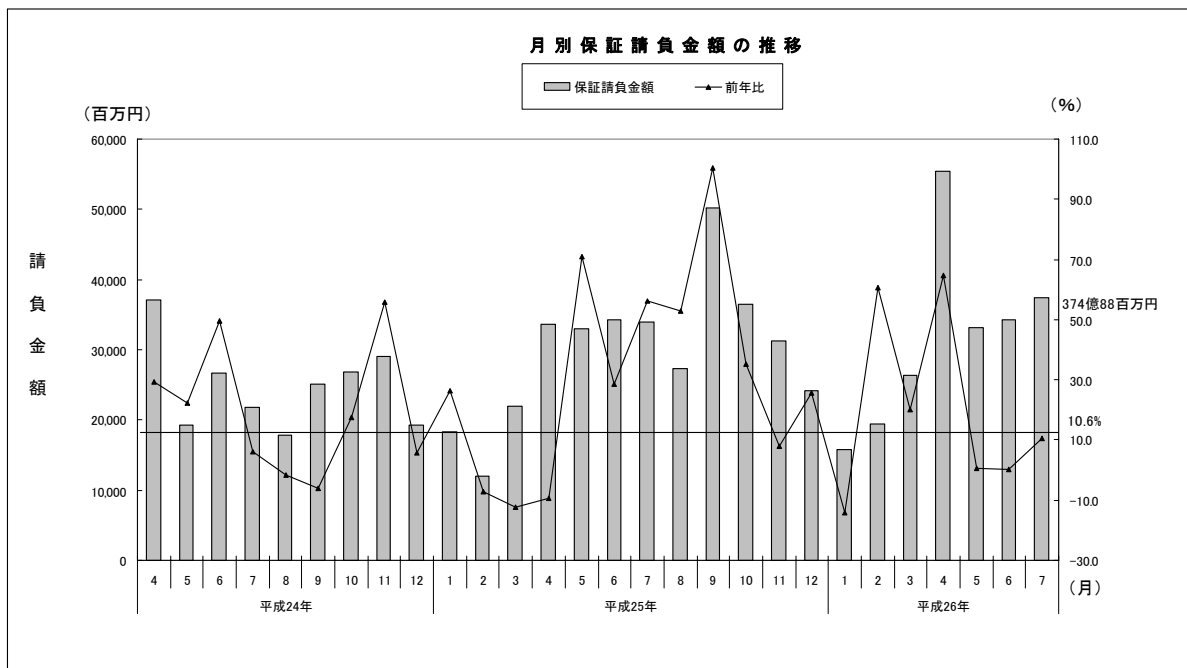
地域別(金額ベース)では、阪神北(前年同月比134.3%)、淡路(同88.9%)、阪神南(同64.0%)、西播磨(同31.6%)、丹波(同28.4%)、東播磨(同18.0%)、神戸市(同8.8%)が増加となり、中播磨(同▲19.5%)、北播磨(同▲35.1%)、但馬(同▲40.1%)が減少となった。

### 7月の公共工事発注状況

金額単位未満切捨て、( )内は前年同月比伸び率増減：%

発注者	件数	金額(百万円)	大型工事明細(5億円以上)
国	24(▲48.9)	3,350(▲48.3)	八鹿日高道路久斗トンネル工事
独立行政法人等	17( 30.8)	5,964( 422.9)	新名神高速道路猪名川中工事
兵庫県	159( ▲4.8)	6,566(▲32.1)	地改(国)第3001-1-003号(国)178号浜坂道路新桃観トンネル(西工区)工事
神戸市	55(▲19.1)	2,540(▲12.2)	25A2-151 上筒井小学校・筒井台中学校体育館改築工事
神戸市を除く市町	220( ▲6.4)	15,599( 35.7)	(仮称)明石市東部中学校給食センター新築ほか工事 上甲子園小学校北校舎改築他建築工事 西宮市立南甲子園小学校校舎等改築工事 26 芦都建(建)-64(仮称)芦屋市庁舎東館新築工事 朝来市学校給食センター建設工事
その他の団体	51( 59.4)	3,465( 56.3)	
合計	526( ▲6.4)	37,488( 10.6)	

資料：西日本建設業保証(株)



## 【貿易】

平成26年7月の神戸港貿易概況(速報)によると、輸出入総額は7,267億円、前年同月比3.5%の増加で、総額ベースで17か月連続して増額となった。輸出は、科学光学機器などが増加したものの、半導体等製造装置などが減少した。一方、輸入は、非鉄金属などが増加したものの、無機化合物などが減少した。

輸出は4,609億円(前年同月比5.2%増)と4か月連続で増加した。

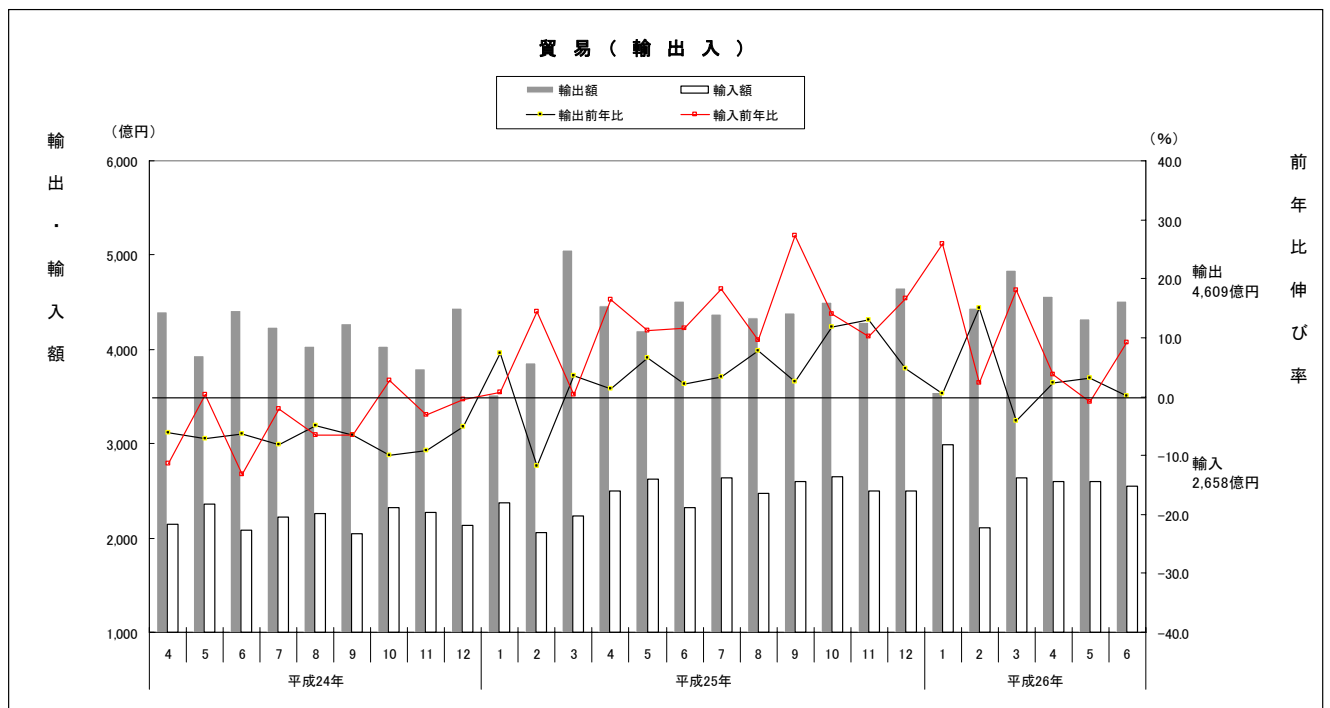
主要品目では、プラスチック(前年同月比11.9%増、2か月ぶりにプラス)、織物用糸及び繊維製品(同0.4%増、2か月ぶりにプラス)が増加、建設用・鉱山用機械(同5.9%減、3か月連続マイナス)、原動機(同4.4%減、3か月ぶりにマイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、EU(前年同月比7.8%増、3か月連続プラス)、米国(同4.8%増、3か月ぶりにプラス)、アジア(中国含む)(同2.6%増、3か月連続プラス)が増加し、中国(同0.5%減、2か月ぶりにマイナス)が減少した。

輸入は2,658億円(前年同月比0.7%増)と2か月連続プラス。

主要品目では、非鉄金属(前年同月比17.3%増、3か月連続プラス)が増加し、有機化合物(同11.3%減、2か月ぶりにマイナス)、たばこ(同10.9%減、15か月連続マイナス)、衣類および同付属品(同9.1%減、4か月連続マイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、アジア(中国含む)(前年同月比3.9%増、2か月連続プラス)、中国(同1.9%増、2か月連続プラス)、EU(同0.4%増、2か月連続プラス)が増加、米国(同3.8%減、3か月ぶりにマイナス)が減少した。



## 【物 価】『消費者物価』

7月の神戸市消費者物価指数は、総合指数が102.9（平成22年＝100）となり、前月比は0.1%上昇、前年同月比は、2.8%上昇となった。生鮮食品を除く総合指数は102.9となり、前月比は0.1%上昇、前年同月比は2.7%上昇となった。また、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は101.3となり、前月比は変わらず、前年同月比は2.0%上昇となった。

前月からの動きを見ると、衣料などの下落により「被服及び履物」が1.5%、身の回り用品などの下落により「諸雑費」が0.5%、電気代などの下落により「光熱・水道」が0.2%、家事用消耗品などの下落により「家具・家事用品」が0.6%下落した。

### 7月の神戸市消費者物価指数(速報)

	総合	食料	住居	光熱水道	家具家事用品	被服及履物	保健医療	交通通信	教育	教養娯楽	諸雑費	生鮮食品を除く総合	食料・エネルギーを除く総合
指 数	102.9	100.9	101.6	121.6	101.2	101.5	98.8	104.0	101.9	98.8	107.5	102.9	101.3
前月比	0.1	0.0	0.0	-0.2	-0.6	-1.5	0.0	1.3	0.0	0.3	-0.5	0.1	0.0
前年同月比	2.8	3.3	0.1	5.7	5.3	1.9	1.2	3.6	0.9	4.1	4.2	2.7	2.0

(注)平成22年＝100

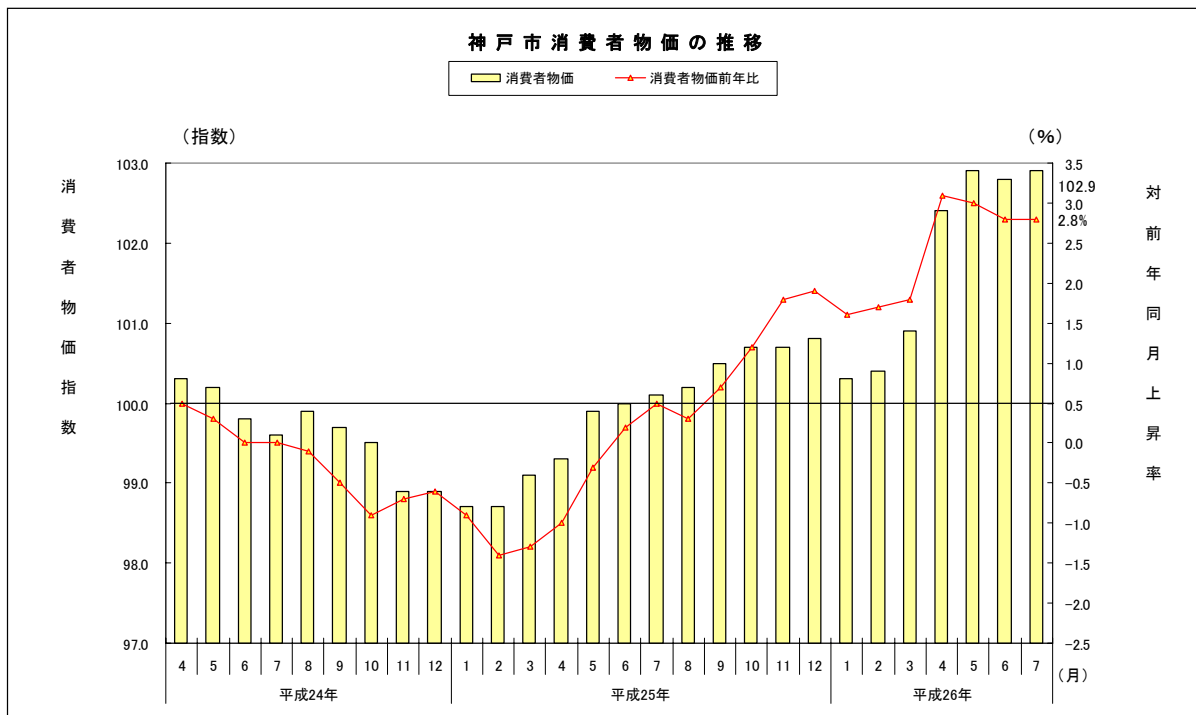
資料：兵庫県統計課

#### ○対前月比値上がりした主な品目

交通 (+ 3.0%)・・・航空運賃、高速自動車国道料金  
 教養娯楽サービス (+ 1.0%)・・・外国パック旅行、宿泊代

#### ○対前月比値下がりした主な品目

衣料 (▲ 2.8%)・・・婦人スーツ春夏物・中級品、背広服夏物・中級品  
 身の回り用品 (▲ 2.6%)・・・旅行用かばん、ハンドバッグ



## 【物 価】『企業物価』

日本銀行調査統計局が8月12日に発表した、企業物価指数(速報)による2014年7月の企業物価指数は次のとおり。

### 7月の企業物価指数

(速報、2010年=100)

	指 数	前月比(%)	前年同月比(%)
国内企業物価	106.6	0.3	4.3
輸出物価	108.2	-0.1	0.7
輸入物価	126.2	-0.2	2.8

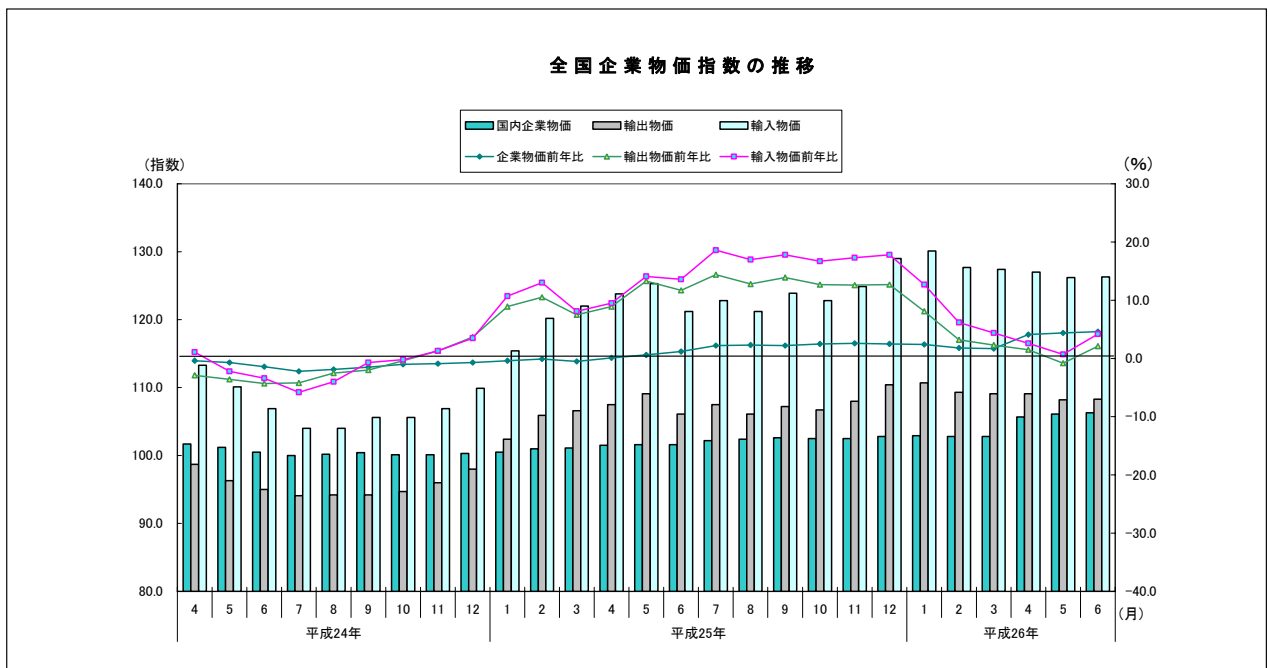
資料：日本銀行調査統計局

国内企業物価は、電力・都市ガス・水道（前月比+3.0%＜業務用高圧電力など＞）、非鉄金属（同+1.9%＜銅地金など＞）、石油・石炭商品（同+1.4%＜ガソリンなど＞）、化学製品（同+0.6%＜ベンゼンなど＞）、食料品・飲料・たばこ・飼料（同+0.2%＜すし・弁当・おにぎりなど＞）等が上昇したが、その他工業製品（同-0.4%＜平版印刷物など＞）、農林水産物（同-1.6%＜豚肉など＞）などが下落した。全体では前月比0.3%となった。

6月は106.6と前年同月比で4.3%上昇した。消費税を除く国内企業物価指数は103.7で前月比0.4%、前年同月比1.5%上昇した。

輸出物価は、化学製品（前月比+0.8%＜パラキシレンなど＞）、輸送用機器（同+0.0%＜普通乗用車など＞）等が上昇したが、はん用・生産用・業務用機器（同-0.3%＜半導体製造装置など＞）、その他産品・製品（同-0.7%＜軽油など＞）、が下落し、円ベースでは前月比0.1%の減少（前年同月比+0.7%）となった。

輸入物価は、石油・石炭・天然ガス（前月比+0.9%＜原油など＞）、化学製品（同+0.2%＜医薬品中間物など＞）等が上昇したが、食料品・飼料（同-1.3%＜とうもろこしなど＞）、木材・同製品（同-1.3%＜欧州材製材など＞）、金属・同製品（同-3.5%＜鉄鉱石など＞）等が下落し、円ベースでは前月比0.2%の減少（前年同月比+2.8%）となった。



## 【雇 用】

### (1) 求人状況

県内6月の新規求人数(全数)は、27,359人(前年同月比10.7%増)で、12か月連続して前年を上回った。また、月間有効求人数(全数)は77,233人(同11.9%増)で50か月連続して前年を上回った。

雇用形態別(新規求人)にみると、一般常用では前年同月比11.6%増で12か月連続して前年を上回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)については同7.6%増で7か月連続して前年を上回った。また臨時・季節では同32.5%増で8か月連続して前年を上回った。

さらに、新規求人を主要産業別にみると、建設業(前年同月比8.4%増)、製造業(同23.4%増)、学術研究、専門・技術サービス業(同20.0%増)、宿泊業、飲食サービス業(同10.3%増)、生活関連サービス業、娯楽業(同26.3%増)、医療、福祉(同11.7%増)、サービス業(同22.1%増)は前年を上回り、運輸業、郵便業(同5.8%減)、卸売業、小売業(同1.9%減)は前年を下回った。

### (2) 求職状況

6月の新規求職申込件数(全数)は21,645件(前年同月比4.4%増)で11か月ぶりに前年を上回った。

また、月間有効求職者数(全数)は97,012人(同5.4%減)で49か月連続して前年を下回った。

雇用形態別(新規求職)にみると、一般常用では前年同月比2.3%増で11か月ぶりに前年を上回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)では同5.1%増で5か月ぶりに前年を上回った。また、臨時・季節については、前年同月比41.5%増で2か月ぶりに前年を上回った。

さらに、新規常用求職者(パートを除く)を就業・不就業の態様別にみると、在職者は前年同月比17.7%増で10か月連続し、自己都合離職者は同4.6%増で9か月ぶりも増加した。事業主都合離職者は同14.6%減で17か月連続、自営・他は同13.1%減で37か月連続、無業者は同7.4%減で30か月連続して前年を下回った。

なお、雇用保険失業給付の受給者実人員は、23,034人(前年同月比10.3%減)で、17か月連続して前年を下回った。

### (3) 求人倍率状況

6月の求人倍率(季節調整値)は、新規求人倍率が1.31倍(前月比0.07ポイント減)で前月を下回り、有効求人倍率については0.88倍(前月比0.00ポイント)で前月と同水準であった。

### (4) 失業者の状況

6月の全国の完全失業率(季節調整値)は3.7%、完全失業者数(原数値)は245万人(前年同月比15万人減)となった。また、近畿の完全失業率(原数値)は4.2%(前年同月比0.1%増)で、完全失業者数(原数値)は44万人(前年同月比1万人増)となった。





## 【信用保証】

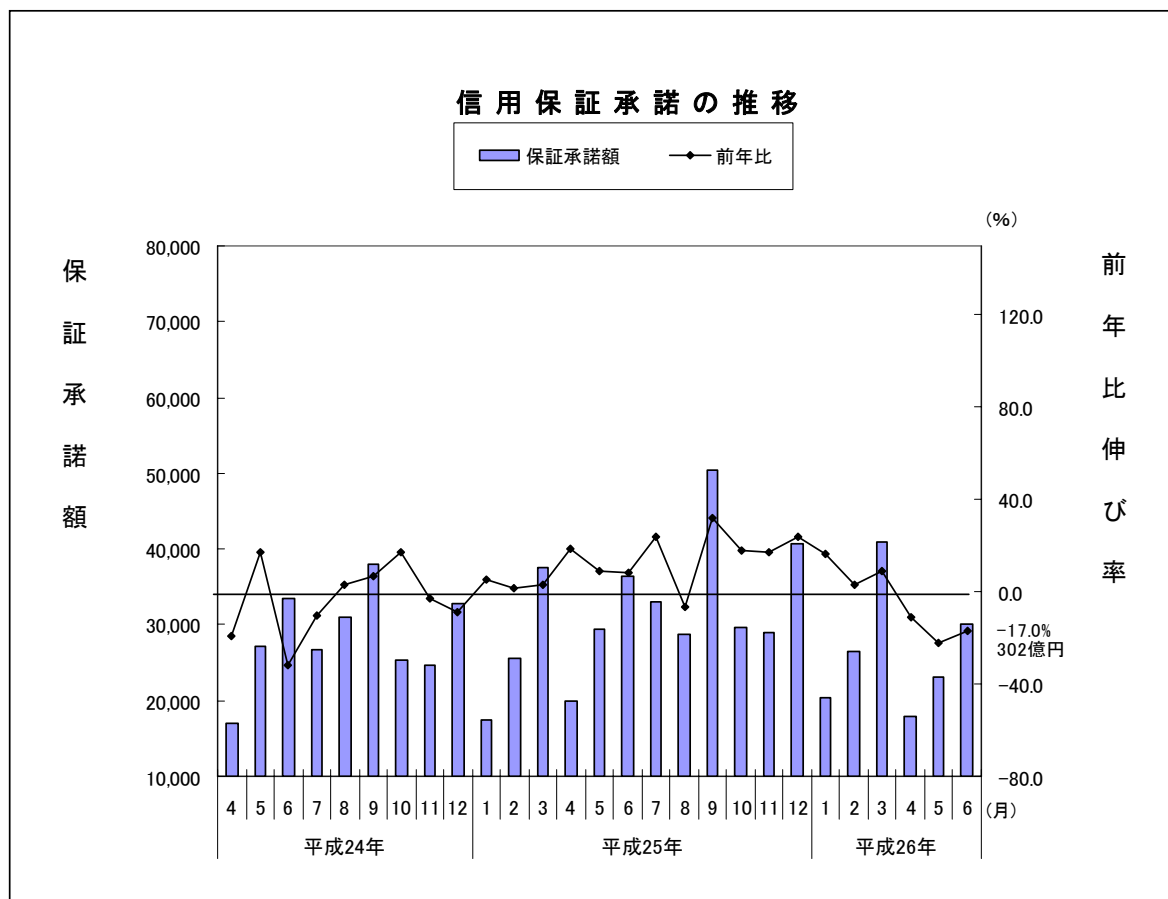
兵庫県信用保証協会による6月の保証承諾実績は、件数で1,885件(前年同月比5.8%減)、金額は302億5百万円(同17.0%減)となり、件数、金額ともに前年実績を下回った。

資金使途別では、運転資金27,807百万円(前年同月比18.9%減)、設備資金728百万円(23.0%増)となり、運転資金は前年同月を下回り、設備資金は前年同月を上回った。

業種別(金額ベース)では、「不動産業」1,483百万円(前年同月比49.1%増)等で前年同月を上回り、「小売業」3,763百万円(同9.4%減)、「建設業」7,872百万円(同14.3%減)、「飲食店」643百万円(同17.6%減)、「製造業」5,002百万円(同81.8%減)、「運送・倉庫業」2,103百万円(同19.1%減)、「卸売業」5,975百万円(同21.1%減)、「サービス業」2,709百万円(同39.6%減)等で前年同月を下回った。

一方、同月の代位弁済は、132件(前年同月比47.4%減)、17億7百万円(同35.5%減)となった。

6月末の保証債務残高は、100,029件(前年同月比4.9%減)、1兆1,375億18百万円(同5.5%減)となった。



## 【金 融】

6月末の県内金融機関の預貸金残高(日本銀行神戸支店調べ)は以下の通り。

(単位：億円、%)

	預 金	前年同月比	貸 出	前年同月比
都 市 銀 行 等	149,092	1.0	54,004	▲ 1.7
地 方 銀 行	26,014	3.2	22,322	5.4
第 二 地 方 銀 行	33,520	3.2	21,255	4.2
信 用 金 庫	81,768	1.6	37,706	0.5
そ の 他	17,273	▲2.3	17,431	▲ 0.3
計	307,667	1.4	152,718	0.8

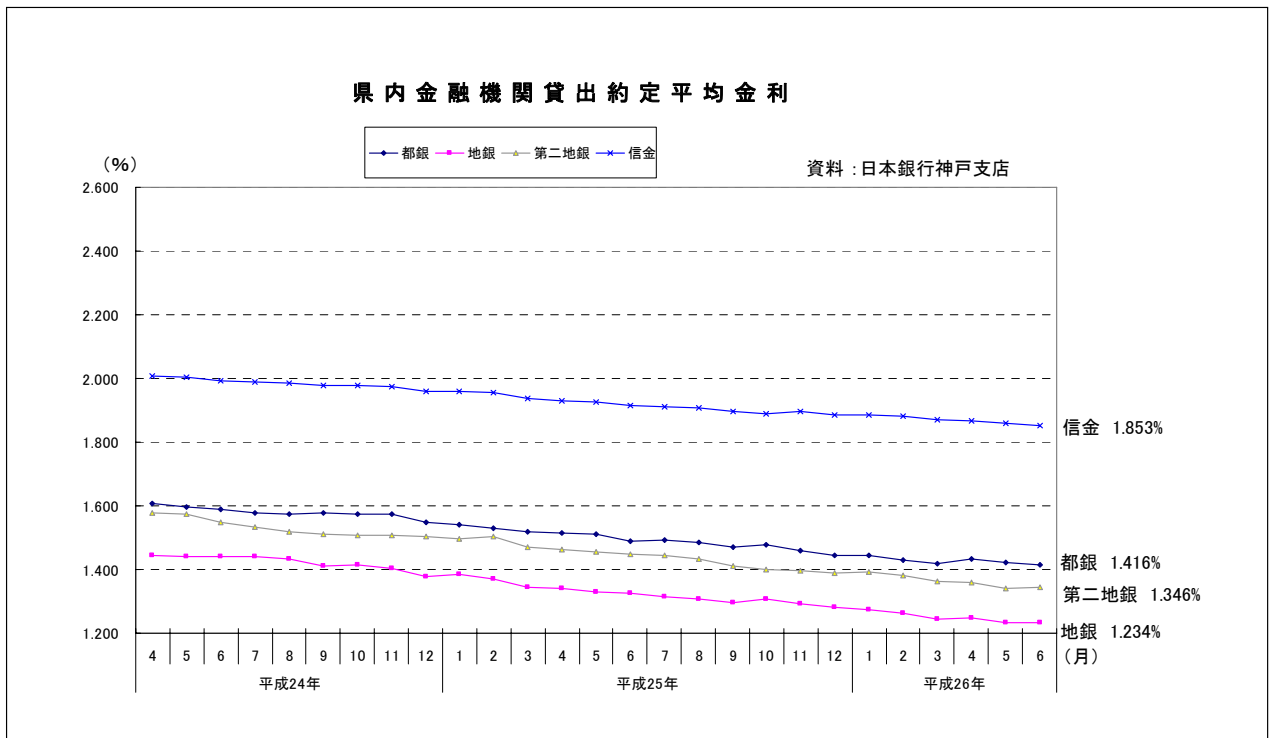
・都銀等＝都市銀行、信託銀行、新生銀行、シティバンク銀行の計。

・その他＝信用組合、労働金庫、商工中金、国民公庫、中小公庫の計。ただし、預金は国民公庫、中小公庫を除く。

6月の預金は、前年を上回って推移している。(前年比+1.4%)

6月の貸出は、前年を上回って推移している。(前年比+0.8%)

6月の貸出約定平均金利(ストックベース)は、緩やかに減少している(5月末水準 1.527%、前月比▲0.003%ポイント)。



## 【倒 産】

県内7月の企業倒産(負債総額1千万円以上、東京商工リサーチ神戸支店)は46件で前年同月比21.05%の増加、負債総額は64億5百万円で同9.03%の増加となった。

倒産件数は、前月比6件(-11.5%)の減少。前年同月比では8件(21.0%)の増加となった。なお、7月単月では過去10年間(平成17年以降)で平成18年7月の46件と合わせて2番目に少ない件数であった。

負債額別では、1,000万円以上1億円未満が36件発生し、資本金別では、個人企業他が18件発生したことを踏まえると、当月も総じて小規模倒産が多かった月と言える。

原因別(件数)では、「販売不振」を中心とする「不況型倒産」が43件(全体の59.25%)を占めた。

業種別(件数)では、「サービス業他」が14件(前年前月比10件増加)でトップであった。

「資本金別」では、「個人企業他」を含めた資本金1,000万円未満までの倒産が34件発生し、全体の73.9%を占めた。

「産業別」では、「サービス業他」が14件でトップとなった。

ここ数ヶ月の兵庫県下倒産現況と同様に、引き続き経営体力を損耗している中小・零細規模企業への注視が肝要であるなか、当月はサービス業他や小売業など一般個人消費に近い産業の倒産が多かった為、今後は、この部分についても着目していく必要があるものと見られる。

7月の原因別・業種別の倒産件数

(負債総額1,000万円以上)

原因別						業種別					
	当月	前月	前月比	前年	前年比		当月	前月	前月比	前年	前年比
放漫経営	0	1	-1	7	-7	建設業	5	13	-8	8	-3
過小資本	3	4	-1	1	2	製造業	6	6	0	4	2
連鎖倒産	0	1	-1	3	-3	卸売業	5	4	1	6	-1
赤字累積	5	6	-1	3	2	小売業	12	10	2	6	6
販売不振	38	39	-1	23	15	情報通信業	0	0	0	1	-1
売掛金回収難	0	0	0	1	-1	サービス業	14	15	-1	10	4
その他	0	1	-1	0	0	不動産・運輸業他	4	4	0	3	1
合計	46	52	-6	38	8	合計	46	52	-6	38	8

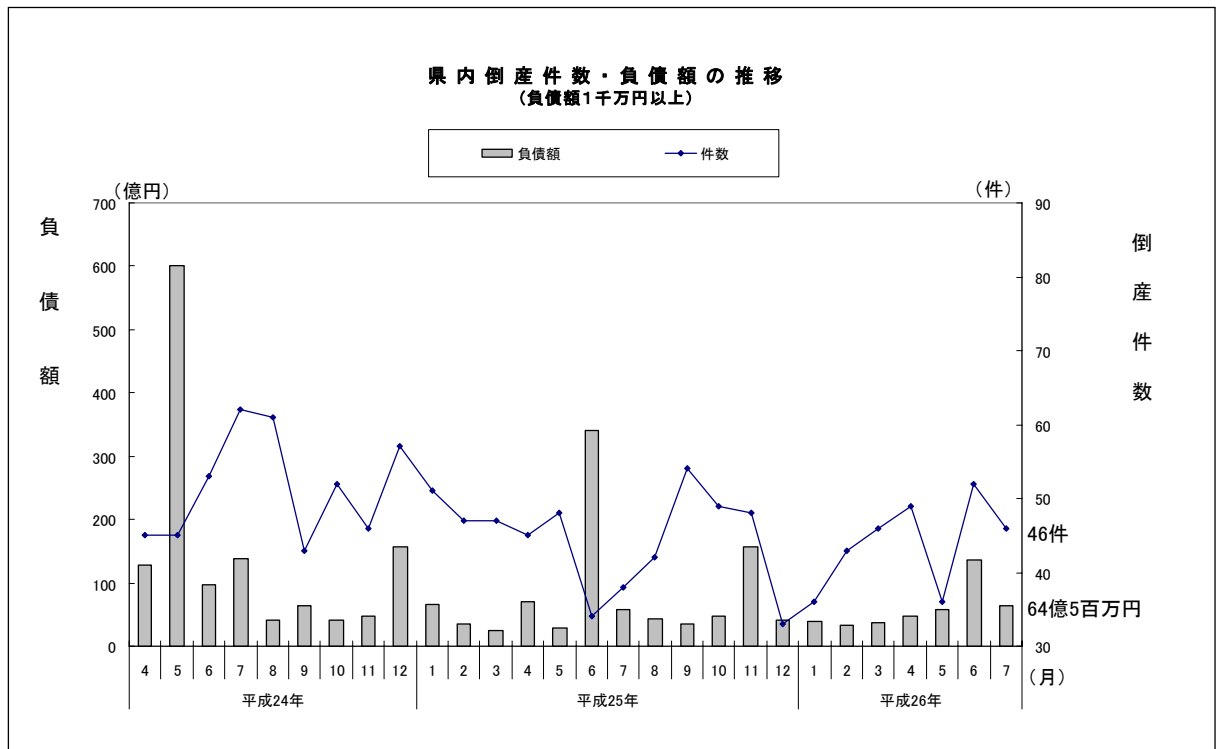
資料：東京商工リサーチ神戸支店

県下企業倒産件数地区別内訳 (負債総額1,000万円以上)

(単位:件数)

年 月	総数	神戸	阪神	西播	東播	但馬	丹波	淡路
19年 平均	59.3	21.3	13.6	8.3	11.3	1.8	1.3	1.7
20年 平均	62.3	20.6	19	7.9	10.6	1.8	1.3	1.1
21年 平均	62.6	21.6	18.5	9.8	9.1	0.9	1.1	1.6
22年 平均	60.8	20.8	20.6	9	6.9	1.4	0.7	1.4
23年 平均	52.2	15.2	17.2	7.9	8.7	1.3	1	0.9
24年 平均	51.9	16	19.4	5.7	6.7	1.3	0.6	2.3
25年 1月	51	13	19	8	3	5	2	1
25年 2月	47	9	21	10	6	0	1	0
25年 3月	47	16	15	5	8	0	0	3
25年 4月	45	13	18	5	7	0	0	2
25年 5月	48	19	20	2	3	2	1	1
25年 6月	34	9	9	6	9	1	0	0
25年 7月	38	17	7	7	4	2	0	1
25年 8月	42	14	14	7	6	1	0	0
25年 9月	54	19	10	11	9	3	1	1
25年 10月	49	17	11	11	4	3	2	1
25年 11月	48	20	15	3	8	0	0	2
25年 12月	33	14	6	5	7	1	0	0
26年 1月	36	11	6	10	6	2	1	0
26年 2月	43	17	8	6	11	1	0	0
26年 3月	46	23	11	9	0	1	1	1
26年 4月	49	18	15	10	4	2	0	0
26年 5月	36	13	14	4	2	2	1	0
26年 6月	52	20	17	6	6	2	0	1
26年 7月	46	19	14	4	1	2	1	5

資料:東京商工リサーチ神戸支店



# 県内主要経済指標

項目 年月	鉱工業生産指数(季節調整済)				公共工事請負金額			新設住宅着工戸数		
	兵庫県 (22年=100)		全国 (22年=100)		兵庫県		全国	兵庫県		全国
	指数	前月比	指数	前月比	金額	前年比	前年比	戸数	前年比	前年比
		%	%		(億円)	%	%	(戸)	%	%
25年 1月	97.6	0.3	94.0	0.3	183	26.5	6.7	2,155	-23.7	5.0
2月	97.1	-1.3	94.8	0.6	120	-7.3	-4.8	2,607	12.7	3.0
3月	96.5	3.2	95.1	0.9	219	-12.4	-11.7	2,732	-6.5	7.3
4月	92.5	-0.8	95.7	1.7	336	-9.4	128.6	2,443	-5.3	5.8
5月	92.6	-0.9	97.7	1.9	329	70.8	24.8	2,632	2.0	14.5
6月	95.5	1.1	95.0	-3.1	342	28.6	21.7	2,939	11.7	15.3
7月	100.3	3.3	97.6	3.4	339	56.1	29.4	3,100	5.5	12.0
8月	94.0	-5.5	97.1	-0.9	272	52.9	7.9	2,735	-11.8	8.8
9月	97.6	3.5	98.6	1.3	502	100.6	29.4	2,759	8.9	19.4
10月	100.6	2.0	99.2	1.0	364	35.3	3.5	3,719	34.8	7.1
11月	100.4	0.0	99.5	0.1	313	8.1	4.9	4,017	44.5	14.1
12月	104.4	1.3	100.0	0.9	241	25.6	7.5	4,238	32.7	18.0
26年 1月	106.3	3.0	103.9	3.8	157	-14.2	28.8	2,504	16.2	12.3
2月	103.7	-2.9	101.5	-2.3	193	60.5	3.7	2,789	7.0	1.0
3月	103.1	-0.6	102.2	0.7	263	20.2	18.1	2,545	-6.8	-2.9
4月	101.5	-1.5	99.3	-2.8	554	64.6	10.0	2,719	11.3	-3.3
5月	100.6	-0.9	100.0	0.7	331	0.5	14.4	2,491	-5.4	-15.0
6月	98.3	-5.6	96.6	-3.4	342	0.1	14.4	2,919	-0.7	-9.5
7月					374	10.6	11.4			
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	兵庫県統計課		経済産業省		西日本建設業保証(株) 兵庫支店			兵庫県住宅地課		国土交通省

\* p は速報値 r は確報値

項目 年月	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)			百貨店売上高			輸出入状況(神戸港)			
	兵庫県		全国	兵庫県		全国 (既存店)	輸出		輸入	
	台数	前年比	前年比	金額	前年比	前年比	金額	前年比	金額	前年比
	(台)	%	%	(億円)	%	%	(億円)	%	(億円)	%
25年 1月	13,378	-6.2	-7.4	192	4.6	0.3	3,522	7.4	2,371	0.8
2月	16,941	-7.9	-8.1	143	-0.9	0.7	3,862	-11.7	2,058	14.5
3月	21,468	-13.9	-11.0	176	3.5	4.0	5,051	3.5	2,235	0.3
4月	11,979	2.1	0.7	160	-2.9	-0.4	4,459	1.4	2,504	16.4
5月	12,231	-5.0	-8.7	157	-4.5	2.8	4,194	6.6	2,625	11.2
6月	15,343	-9.2	-12.5	165	1.1	7.5	4,515	2.2	2,327	11.5
7月	15,195	-7.3	-9.7	155	-7.8	-2.2	4,379	3.3	2,638	18.2
8月	11,926	1.4	-1.6	145	-3.6	3.0	4,342	7.7	2,474	9.6
9月	17,366	14.1	18.1	144	-1.4	3.0	4,382	2.6	2,600	27.3
10月	13,869	21.2	18.4	158	-5.8	-0.4	4,507	11.8	2,644	14.1
11月	14,661	22.0	16.7	183	-0.9	2.6	4,293	13.0	2,499	10.1
12月	13,905	22.6	26.5	251	-2.7	1.9	4,653	4.7	2,495	16.7
26年 1月	17,055	27.5	30.6	187	-2.7	3.2	3,543	0.6	2,984	25.9
2月	20,071	18.5	18.8	147	2.8	2.9	4,442	15.0	2,106	2.3
3月	25,740	19.9	16.7	223	26.8	25.3	4,845	-4.1	2,639	18.1
4月	10,732	-10.4	-5.1	135	-15.4	-10.1	4,564	2.4	2,601	3.9
5月	11,461	-6.3	-1.3	151	-3.7	-2.1	4,331	3.2	2,600	-0.9
6月	14,336	-6.6	0.1	159	-3.5	-2.4	r 4,520	0.1	r 2,543	9.2
7月	14,963	-1.5	-2.6	178	-4.7	p	p 4,609	5.2	p 2,658	0.7
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	自販連兵庫県支部 兵庫県軽自動車協会			兵庫県百貨店協会		近畿経済 産業局	神戸税関			

\* p は速報値 r は確報値

\* 百貨店売上高の前年比は店舗調整後

項目 年月	有効求人倍率 (パートを含む)		県下常用労働者数 (30人以上,月末推計)		県下名目賃金指数 (定期給与,30人以上)		消費者物価指数 (22年=100)			
	兵庫県	全国	全産業 (千人)	前年比 %	指数 (22年=100)	前年比 %	神戸市		全国	
							指数	前年比 %	指数	前年比 %
25年 1月	0.70	0.84	1,040	-1.2	99.4	0.7	98.7	-0.9	99.3	-0.3
2月	0.71	0.85	1,035	-0.4	99.8	0.9	98.7	-1.4	99.2	-0.7
3月	0.71	0.86	1,032	-0.2	100.5	0.4	99.1	-1.3	99.4	-0.9
4月	0.74	0.89	1,043	-0.9	101.6	1.1	99.3	-1.0	99.7	-0.7
5月	0.76	0.92	1,047	-0.3	100.7	1.9	99.9	-0.3	99.8	-0.3
6月	0.76	0.92	1,051	0.0	101.1	0.9	100.0	0.2	99.8	0.2
7月	0.76	0.94	1,053	0.0	100.4	0.4	100.1	0.5	100.0	0.7
8月	0.78	0.95	1,050	0.0	100.0	0.4	100.2	0.3	100.3	0.9
9月	0.76	0.95	1,046	-0.5	100.2	0.9	100.5	0.7	100.6	1.1
10月	0.77	0.98	1,048	0.1	100.8	1.5	100.7	1.2	100.7	1.1
11月	0.78	1.00	1,051	0.2	101.0	1.2	100.7	1.8	100.8	1.5
12月	0.82	1.03	1,050	0.3	101.7	1.3	100.8	1.9	100.9	1.6
26年 1月	0.83	1.04	1,043	0.4	100.4	1.0	100.3	1.6	100.7	1.4
2月	0.86	1.05	1,039	0.5	100.6	0.8	100.4	1.7	100.7	1.5
3月	0.85	1.07	1,039	0.4	101.1	0.6	100.9	1.8	101.0	1.6
4月	0.87	1.08	1,050	0.3	102.5	0.9	102.4	3.1	103.1	3.4
5月	0.88	1.09	1,050	-0.2	101.9	1.2	102.9	3.0	103.5	3.7
6月	0.88	1.10	1,049	-0.2	102.5	1.4	102.8	2.8	103.4	3.6
7月							102.9	2.8		
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	兵庫県労働局		兵庫県統計課				兵庫県統計課		総務省	

項目 年月	国内企業物価指数 (H24.5より22年=100)		県下金融機関 貸出金残高		貸出約定 平均金利	県下企業倒産(負債1,000万円以上)				
	全国		金額		全国銀行	件数	金額	地域別倒産件数		
	指数	前年比 %	(各期末)	前年比 %				神戸	阪神	播磨他
25年 1月	100.5	-0.4	150,340	0.1	1.358	51	65	13	19	19
2月	101.0	-0.1	150,096	0.4	1.346	47	34	9	21	17
3月	101.1	-0.5	152,787	0.4	1.325	47	25	16	15	16
4月	101.5	0.1	150,606	0.2	1.321	45	69	13	18	14
5月	101.6	0.6	150,286	0.0	1.319	48	29	19	20	9
6月	101.6	1.2	151,520	0.6	1.303	34	341	9	9	16
7月	102.2	2.2	150,656	0.1	1.296	38	58	17	7	14
8月	102.4	2.3	151,104	0.6	1.291	42	42	14	14	14
9月	102.6	2.2	152,378	0.4	1.291	54	34	19	10	35
10月	102.5	2.5	151,258	1.0	1.277	49	47	17	11	21
11月	102.5	2.6	152,669	1.7	1.271	48	157	20	15	13
12月	102.8	2.5	153,631	1.5	1.258	33	41	14	6	13
26年 1月	103.0	2.5	152,338	1.3	1.254	36	38	11	6	19
2月	102.8	1.8	152,315	1.5	1.250	43	33	17	8	18
3月	102.8	1.7	155,384	1.7	1.234	46	37	23	11	12
4月	105.7	4.1	152,315	1.1	1.233	49	47	18	15	16
5月	106.1	4.4	153,310	2.0	1.229	36	56	13	14	9
6月	106.3	4.6	152,718	0.8	1.222	52	136	20	17	15
7月	106.6	4.3				46	64	19	14	13
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	日本銀行					(株)東京商工リサーチ 神戸支店				

\* p は速報値 r は確報値